

昨年度の授業改善プランの検証

- ・日常生活にある国語的要素を積極的に授業に取り込み、日々の学習に生かそうとしている。朝読書活動を継続し、活字・文章に慣れることや自発的に読書する環境は整いつつあるが、個々の読書量をさらに増やしていく必要がある。
- ・授業の中に意見発表やスピーチやディスカッション等「話す」機会を数多く取り入れる実践は、意識され工夫されている。
- ・自己の意見や感想、論文形式の作文など、目的意識をはっきりさせて書く実践に取り組んでいる。

今年度の学力調査について

分析

<知識・技能>

語彙力の充実や的確な文法を用いた表現、敬語の使い方、漢字を読み書きなどは、既習内容を活用しながら引き続き日常生活や学習の中で、定着させていくことは継続していく。また、情報の活用に不慣れな様子が見られる。

<思考・判断・表現>

説明的な文章の読解、論理的な説明の進め方に課題がある。例えば、文章全体と部分の関係に注意しながら内容を捉えたり、読み取った内容を自分の経験と結び付けて考えを深めていくこと、文章と図表を結びつけて解釈したりすることには大きな課題がある。

<主体的に学習に取り組む態度>

記述式問題に、無回答が一定数存在する。自己肯定感の低さも影響していると思われるが、学習の方法や問題への答え方など段階的で丁寧な指導を繰り返す行いによって、達成感をもたせ、学習意欲へとつなげていくことが有効と思われる。

課題

<知識・技能>

日常生活で用いる慣用的な表現・漢字の読み書き等、文脈の中での更なる語彙力の充実を図る必要がある。また、相手や目的に応じて話すことや、話の構成や要点を意識しながら聞き取る訓練が必要である。文章を書く際には、論理的な構成、正確な記述や要約をすることが課題である。

<思考・判断・表現>

文章を具体化し、または論理の展開を理解しながら深く読む力をつけるとともに、語彙力をつけ、修辭的にまた論理的に表現する練習が必要である。目的に応じた話し方や相手意識をもち、資料を活用した発表方法や聞き取る力をつけていくことも課題である。

<主体的に取り組む態度>

記述問題における苦手意識が見受けられることから、具体的な練習が必要である。また、得た知識を積極的に表現や読解に活かそうとする姿勢を評価していくことが必要である。

授業改善のポイント

<知識・技能>

授業・学校・家庭等の言語環境をより豊かなものにできるような工夫と展開を意識する。読み方の基本訓練と並行し、作者の意図をつかむだけでなく、自分の実感をともなった読み方ができるように、また図表などの資料を活用しながら級友と共同で読み深められるような授業構成・展開を準備する。

<思考・判断・表現>

相互の意見交換・ディスカッション等の場面で、積極的に発言するとともに、友人の意見を集中して聞くこと、そして深く思考する沈黙の時間を効果的にもつ。
文章や話の内容、情報をもとに自分の考えを根拠立てて話す・書く練習を意識的に設定し、目的に応じた話し方、文章の書き方を意識させる。

<主体的に取り組む態度>

言葉の充実が思考の深化につながることを、日常生活の国語的な要素を授業と関連づけることで意識化を促す。評価方法の明示、発表課題や班での活動で達成感をもたせる。国語の課題に意欲的に取り組むことで、国語力や他教科の向上に実感をもたせる。